

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【家庭】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 家庭分野の目標を達成するために、巻頭に「家庭分野のガイダンス」を設け、見通しをもった学習が行えるように工夫するとともに、各単元を「導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、物事を考えたり、意見を整理したりする際に活用できる多様な思考ツールを示すなど、対話を助けて、協働を促すことができるような工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、見方・考え方を働かせることのできる場面にキャラクターの「ミカタン」を登場させ、関連するせりふで生活の思考や意識を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、実物大写真や図表を豊富に掲載しているほか、各単元や題材内にあるデジタルコンテンツを視聴して、科学的根拠や実感を伴った知識が身に付くよう工夫されている。また、生徒にとっての分かりやすさについては、「環境」「防災」「消費者」「情報モラル」等のマークを設定し、今日的課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) よりよい生活を目指し、家庭・地域での実践を促すために、豊富な資料や実践例を提示することで、地域や学校の実態に応じて選択し、実践できるように工夫されている。また、巻末資料に「防災・減災手帳」が設けられ、記入欄に自分や家族で考えたことを記入するなど、家庭や地域で活用しやすいような工夫が見られる。</p>	<p>P4～17</p> <p>P20～101</p> <p>P70、271</p> <p>P25</p> <p>P36～37</p> <p>P291</p> <p>P52、146</p> <p>P44、192</p> <p>P63、66～69</p> <p>巻末付録</p>
6 教育図書	<p>(1) 家庭分野の目標を達成するために、章の初めにこれまでの生活を振り返るページを設け、自立の確認が行えるように工夫するとともに、各単元を「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、グループでの話合いやロールプレイで対話することができる「話し合ってみよう」が設定してあり、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻頭に問題解決的な学習が展開できるよう「課題解決学習の流れ」を示したり、「学びを生かそう」に課題設定のヒントを掲載したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、図解やイラストを充実させ、生活経験の不足を補えるように</p>	<p>P36～37</p> <p>P12～35</p> <p>P14</p> <p>P4～5</p> <p>P32～33</p>

	<p>配慮されているほか、QRコードが小題材内に掲載しており、動画等を視聴して学習を進めることができるように工夫されている。また、生徒にとっての分かりやすさについては、「環境」「防災」「消費者」等のマークを設定し、今日的課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) よりよい生活を目指し、家庭・地域での実践を促すために、具体的な資料により生徒が地域で活躍するイメージをもち、地域に合わせた取組ができるように工夫されている。また、単元ごとに「センパイに聞こう」が設けられ、学習したことを家庭や地域、社会に生かすことができる実践的な態度を養うような工夫が見られる。</p>	<p>P17、21</p> <p>P108、149</p> <p>P54</p> <p>P26～27、29</p> <p>P35</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、章の初めに、「わたしの興味・関心」というページを設け、生活の中から問題を見出せるよう工夫し、単元を「本文」「ふり回り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、様々な場面において、写真や資料をもとに、話し合いが展開できるような「話し合ってみよう」を設け、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元を通して考えることができるように小単元の初めの発問コーナーや「生活の課題と実践の進め方」「実践のまとめ方」のページがあるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各章の扉となる「わたしの興味・関心」では、見開きを使って実物大写真を掲載し、視覚からも学習の動機付けが図れるような工夫が見られるほか、QRコードが小題材内に掲載しており、動画等を視聴して学習を進められるよう工夫されている。また、「豆知識」「他分野他教科」等のマークを設定し、様々な課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) よりよい生活を目指し、家庭・地域での実践を促すために、地域での生活と関連付けた身近な話題を問いかけながら、主体的に課題に取り組めるよう工夫されている。また、小単元ごとに取り組みやすい「生活に生かそう」が設けられ、身に付いた知識や技能を家庭や地域で実践しやすいような工夫が見られる。</p>	<p>P14～15</p> <p>P16～67</p> <p>P19</p> <p>P16</p> <p>P268、269</p> <p>P14～15</p> <p>P23</p> <p>P65</p> <p>P56</p> <p>P25</p>